



令和6年度 全国学力・学習状況調査結果の概要について

御嵩町（組合）教育委員会

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るため。
- ◇学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てるため。
- ◇教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するため。

(2) 対象学校・児童生徒

御嵩町内公立小中学校 【小学校3校（6年生）、中学校3校（3年生）】

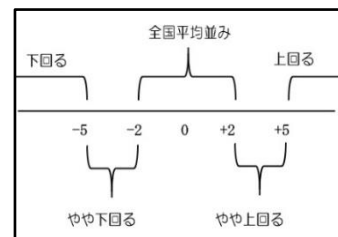
(3) 調査内容

教科に関する調査

【国語、算数／数学、生活委習慣や学習環境に関する質問調査】

(4) 調査日

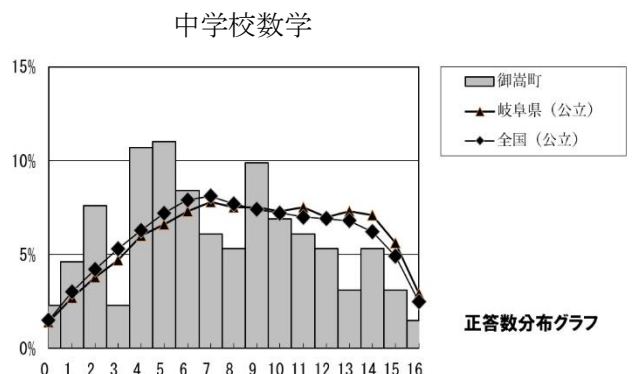
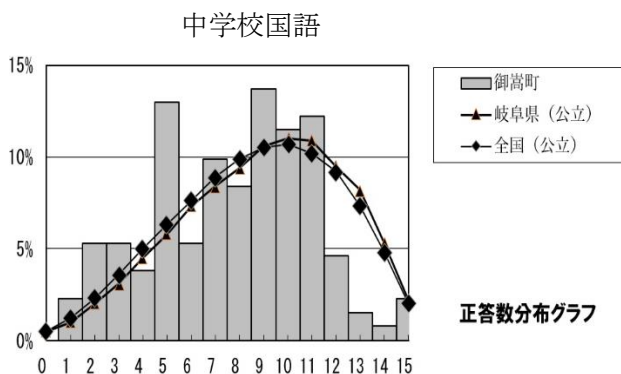
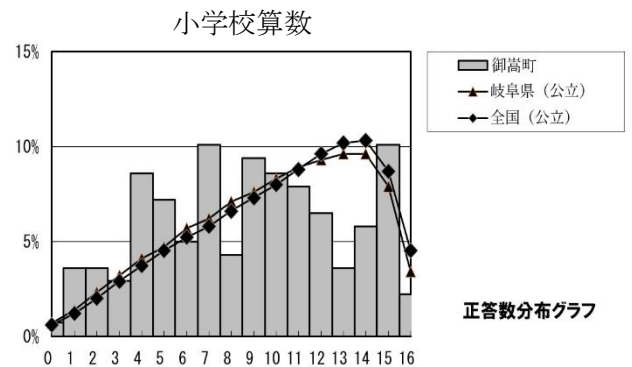
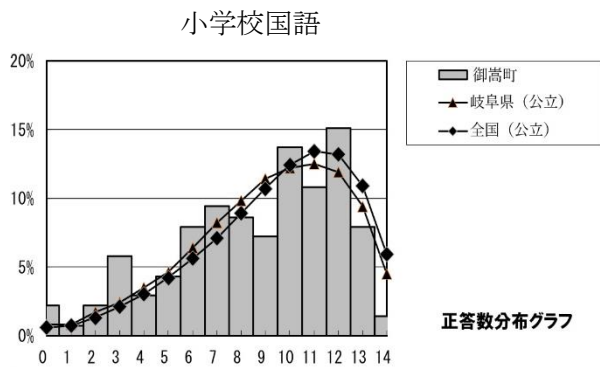
令和6年 4月18日（木）



2. 御嵩町における調査結果の概要

(1) 教科における調査結果

- 小学校の国語、算数は全国平均より下回っている。
- 中学校の国語、数学は全国平均より下回っている。



(2) 各教科の調査結果の概要から見た成果 (○) と課題 (●)

【小学校国語】

- 目的や意図に応じて、伝え合う内容を検討することができる。
- 登場人物の相互関係や心情について捉えることができる。
- 文中の主語と述語の関係を捉えることに弱さがある。
- 条件に沿って文章を書くことに弱さがある。

【小学校算数】

- 円柱の展開図におけるそれぞれの長さの関係の理解や、立体の体積を求めることに弱さがある。
- 数と計算領域で、乗法や除法の計算原理の理解に弱さがある。

【中学校国語】

- 資料を用いて自分の考えを分かりやすく伝えることができる。
- 他者の発言と結び付けて、自分の考えをまとめることに弱さがある。
- 必要な情報に着目して要約することに弱さがある。

【中学校数学】

- データの活用の、「知識・理解」に関わる内容の理解がある。
- 数学的な表現を用いて説明することに弱さがある。
- 等しい条件を見だし、筋道を立てて証明することに弱さがある。

(3) 課題解決への手立て

小学校の国語・算数においては、基礎的・基本的な知識及び技能の習得に重点を置いた指導が必要です。そのため、より児童の実態に応じて、柔軟な指導の手立てを構築していくことが大切になります。例えば国語では、主語と述語を学習する2年生や、修飾語を学習する3年生から、説明文や物語文の学習において、適宜「文中の述語に対して、主語は何にあたるか。」といった発問をすることで、日頃から主語と述語の関係を意識することができるような指導を行うことができます。また算数では、図形の学習で、立体に辺や直径などの長さを示す(書き入れる)活動を取り入れて、図形の構成要素の長さを理解することができるようにしたり、面積や体積の求め方の理解を深めるために、ICTなどで視覚的な理解を促したりする活動を位置付けることができます。中学校の国語・数学においては、目的に応じて自分の考えをまとめたり、筋道を立てて説明したりする力の向上に重点を置いた指導が必要です。そのために、段階を踏んで丁寧な指導をしていくことが大切になります。例えば国語では、複数の条件を満たす文章を書く際、条件の数を固定せずに、条件の数を選択することができるようにしたり、模範解答を参考にして記述の仕方を練習させたりと段階的な指導を位置付けることもできます。また数学では、証明の問題に取り組む際、1からすべて証明を書かせるのではなく、結論と仮定を図に示しておき視覚的に分かるようにしておいたり、穴埋め式の証明を、単元を通して段階的に取り入れたりすることができます。このような指導の手立てを具体的にして、授業改善を図ります。

(4) 児童生徒質問紙に関する調査結果の概要と課題に対する手立て

各質問項目における回答の割合（回答1「当てはまる」と回答は2「どちらかといえば当てはまる」に該当する結果）は、小学校においては全国平均よりやや低く、中学校においては全国平均並みでした。その中でも、全国平均と比べ特に高かったり、低かったりした項目について、以下に示します。

【小学校 生徒質問紙結果】

	質問内容	御嵩町	全国
上 回 る	友達関係に満足していますか。	94.9	91.1
	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。	65.4	59.5
	5年生前の学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することに、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。 (1) 自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。	89.9	85.5
下 回 る	将来の夢や目標を持っていますか。	68.4	82.4
	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	54.0	67.1
	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(※1時間より少ない回答の合計)	48.2	45.3
	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(※1時間より少ない回答の合計)	65.4	51.3
	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	69.0	79.6

【中学校 生徒質問紙結果】

	質問内容	御嵩町	全国
上 回 る	①将来の夢や目標を持っていますか。	69.2	66.3
	②友達関係に満足していますか。	95.4	90.1
	③1・2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていましたか。	85.4	80.9
	④先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	92.3	84.9
	⑤学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。	87.7	80.6
下 回 る	⑥1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューター、スマホ等）をしますか。(※3時間以上の回答の合計)	28.5	32.5
	⑦携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	66.2	72.3
	⑧1・2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。	43.8	64.4

小学校においては、日常の授業の中でタブレットを活用する割合が高く、使用している児童の実感として「自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。」という設問の回答率が高いことから、個別最適な学びを意識した指導をされていることが分かります。家庭学習について、平日の家庭学習の時間は全国平均より若干下回る程度であることに対し、土日、休日の家庭学習の時間が、1時間未満の児童が6割近くいることから、これまでの家庭学習の在り方を見直し、個に応じた学習内容を提示したり、持ち帰りのタブレットを用いて復習をしたりするなど、家庭学習の充実を図るための指導を行っていきます。

中学校においては、授業の中で生徒の実態に合わせた指導方法が大切にされており、生徒にもその実感があることが分かります。また、生徒の困り感に対して、教職員が適切に対応している点からも、生徒の学校生活全般に対し、丁寧な指導をしていることが分かります。スマートフォンなどの使用については課題がみられます。家庭での使用のルール必要性について再確認したり、各種 SNS の危険性や、長時間の動画視聴の及ぼす影響などを中心とした授業を展開するしたりすることで、SNS に関わる指導を行っていきます。

3. 全国学力・学習状況調査の活用について

本調査の結果は、町内 6 校の管理職と教育委員会で組織する学力向上委員会で共有し、各校の教務主任を中心とした学力向上を司る組織で、具体的な手立てを明確にして授業改善に取り組みます。

また、御嵩町教職員で組織されている「可児郡教科研究会（教職員の授業力向上のために研鑽を積むことを目的とした組織）」における研究授業において、これらの結果を基にした、具体的な指導の方途を示すことで、児童生徒の学力向上を図っていきます。